

磐田市 磐田市の未来のために 自治会連合会だより

回覧
vol.35

小中学生ポスターコンクール 最優秀賞

「環境美化の部」

小学生低学年の部



東部小2年
やなぎさわ かりん
柳澤 花梨さん

小学生高学年の部



長野小4年
きくい りあん
菊井 理杏さん

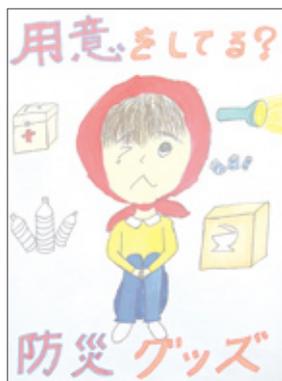
中学生の部



南部中3年
いしかわ しょうこ
石川 翔子さん

「防災の部」

小学生低学年の部



磐田中部小3年
さくらい まいか
櫻井 舞花さん

小学生高学年の部



磐田西小6年
すずき ゆめの
鈴木 夢乃さん

中学生の部



磐田第一中1年
ごとう あやの
後藤 綾乃さん



▲ 令和元年10月17日表彰式の様子（最優秀賞受賞者）

「環境美化」と「防災」啓発ポスターコンクールを実施しました。この事業は、こどもたちに地域に関心を持ってもらうとともに、自治会連合会の活動を周知するため、平成18年度からテーマを変えて実施しています。

今回は882点の応募があり、最優秀賞には6点の作品が選ばれました。

入賞作品については、自治会回覧板のデザインに活用させていただきます。

なぜ、地域づくりに女性役員が必要なのか

現在磐田市自治会連合会の主な役員(※)は340人
そのうち女性役員は7名です。

日々変化する地域の現状に対応するためには、女性目線の意見も不可欠と考えています。
どのようにすれば、女性が活躍しやすい環境が構築できるか試行錯誤しています。

今回は地域で活躍されている女性3名に、自治会長・地区長になったきっかけや魅力等についてお話をお伺いしました。



たまだ ふみえ
玉田 文江
磐田支部／天竜地区長



ひないじ かよこ
日内地 佳代子
竜洋西地区／西堀自治会長



なつめ ゆうこ
夏目 裕子
見付地区／西坂町自治会長

自治会長・地区長になったきっかけは何ですか。

玉田——以前、議会を傍聴したときに「大事なことを決める場に男性しかいなく、これでいいのか」と疑問を持ちました。それ以来、様々な場面で男女共同参画の必要性を感じ、市議会議員を経て自治会長から地区長になりました。

日内地——私は三姉妹の中で育ち「女性だからできない」と言われることに違和感を感じていました。何事もやってみないとわからないと思います。夫が現役で働いていることもあり、私が自治会長になりました。

夏目——今まで地域の中で、福祉委員や自治会の会計、副会長を経験してきました。今までの活動に関わってくれた人の助けもあって自治会長になりました。

自治会長・地区長になって良かったことは何ですか。

夏目——私が女性自治会長を務めることで、他の自治会から「自治会長は男性でなければいけないという固定観念がなくなり選出が気楽になった。」という言葉をもらいました。自分がきっかけで道を開けたと思うと嬉しいです。また、自治会長の仕事を通して、出会えなかった人たちとつながることができる楽しさもあります。

日内地——自治会長は様々な仕事があり、刺激を受け、脳が3、4歳若返りました!そしてなんとといっても、イベントなどで地域の人が喜んでる姿をみると嬉しいです。

玉田——今年度の地域防災訓練では、女性が安心して過ごせる避難所について話しあう場を設けることができました。地域の女性の声を形にすることができて良かったです。また、女性役員がいると地域の会合に子どもを連れて来れる雰囲気ができるのもいいですね。

※主な役員・・・自治会長 305 名、地区長 29 名、支部長 5 名、連合会長 1 名

今後の役員選出に対して、 課題に感じることはありますか。

夏目——私は専業主婦なので、会合や活動に対して時間に融通が利きますが、現役で働いている方は大変なのではないかと思います。

日内地——私は週末メインの仕事をしているため、地域の会合の時間をずらしてもらったり、「この月は活動に参加できない」とあらかじめ伝えたりしています。

玉田——女性や男性に対する固定観念はまだあると思います。それぞれの強みを生かし、協力しながら活動できたらいいですね。

夏目——それぞれの意識改革が大切ですね。

日内地——自治会長になり、毎年楽しみにしていた旅行に行けませんでした。日々の仕事に追われて計画することを忘れていました。

夏目——地域を離れている間に何かあったらと思うと心配ですね・・・

玉田——旅行にも行けない役員の仕事は改善していきたいですね。もっと地域の人を巻き込んで、どなたでも参加できるような組織になったら素敵だと思います。



今後、女性役員を増やす ためにどうすればよいと 思いますか。

玉田——役員を経験することで、意外と自分の性格に合うと感じた方もいらっしゃいました。しかし、初めの一歩がなかなか踏み出せない場合もあるため、男性から一押ししていただくのはどうでしょうか。

夏目——困ったときは必ず地域の方が助けてくれることが分かりました。どなたでも役員が務まることを発信していくことも大切かなと思います。

日内地——時代に合った、活動に変化させる意識でしょうか。意識だけで終わらず動くことが重要ですね！



総務部長からまとめの言葉

自治会連合会 総務部長
島岡 信生



その他にも色々なお話をお聴きすることができました。なかでも新たな視点や考え方を知ることができ、とても有意義な時間となりました。今回いただいたご意見を参考に自治会連合会活動を改善し、更なる多くの女性の参加と同時に、女性が輝く磐田市を望みます。ありがとうございました。

説得力のある数字 そこから生まれる地域への危機感



川北秀人氏 プロフィール

87年に京都大学卒業後、(株)リクルート入社。
91年に退社後、国際青年交流 NGO の日本代表や国会議員の政策担当秘書などを務め、94年にIIHOE 設立。
市民団体のマネジメントや、企業の社会責任への取り組みを支援するとともに、NPO・市民団体と行政との協働の基盤づくりをすすめている。

令和元年11月14日に袋井市月見の里学遊館で「静岡県自治会連合会西部支部研修会」を開催しました。

IIHOE (人と組織と地球のための国際研究所) 代表 川北秀人氏を講師としてお招きし、これからの住民自治の仕組みをテーマに講演していただきました。

国立社会保障・人口問題研究所によると、現在約17万人の磐田市人口は、40年後約11万人まで減少すると予測されます。今まで通りの地域活動をしていくと、役員の担い手不足や自治会長の負担が2倍以上になるなど、様々な問題が起こる可能性があります。そのため、時代とニーズにあった活動に変化していかなければいけないと実感しました。

そこで!! より詳しく、川北氏に磐田市の現状や未来について分析していただき、これからの地域活動のヒントをもらえるような講演会を開催いたします。

お気軽にお越しください。

とき 令和2年5月31日(日) **時間** 13:30~

場所 竜洋なぎの木会館

対象 自治会役員、地域づくり協議会役員、関心のある市民

3月11日は「家庭防災の日」

①家族に無事を
伝えよう
災害用伝言ダイヤル 171



今年はこの2つに取り組みましょう

②携帯トイレを
備蓄しよう



※詳しくは2月上旬に全戸配布した特集チラシ(黄色)をご覧ください。

令和元年度役員視察研修



令和元年8月5日から6日に役員視察研修を行いました。

2日目に東京臨海広域防災公園で防災体験学習をしました。そこでの津波避難体験自助体験を通して、備えの大切さや、自分の身は自分で守る大切さを学びました。

今後、地域活動に活かしていきたいと思っております。

【令和2年2月14日発行】

発行:磐田市自治会連合会 編集:磐田市自治会連合会 総務部会
連絡先

磐田市自治会連合会事務局(地域づくり応援課)
TEL (0538) 37-4811 <http://www.iwatashi-jchikai.jp>